

美郷の重楽寺

吉野川市美郷の女性グループ「ほのぼの工房」が、地区の隠れた梅の名所・重楽寺（美郷宮倉）に花見客

用の休憩所を設けた。美郷商工会によると、梅の見ごろは2月末から3月上旬の見込み。

地元主婦グループ開設

梅の名所に休憩所



休憩所を設け梅の花見客を迎えるほのぼの工房の女性。吉野川市美郷の重楽寺

お茶振る舞い 花見客もてなす

楮山悦子さん（五八）美郷田平から梅農家の五十代の主婦四人が、境内の一角にテントを張り、机やいすを用意。花見客にお茶を振る舞ったり、梅の種類を説明したりする。手作りの梅干しやちらしずし、ヨモギ団子、野菜やシイタケなども販売する。

重楽寺には、先代の住職が植えた約百本の梅があり、シーズンには県外からも花見客や写真愛好家らが訪れ、地元では隠れた梅の名所として知られている。楮山さんは「大勢の花見客と交流したい」と今年初めて休憩所を設けた。

休憩所は無休で、毎日午前十時から午後三時まで。見ごろが終わる三月中旬まで続ける。二十三、二十四の両日はオープンを記念し、午前十時から紅白もち五十個を無

料で配る。美郷地区では梅の開花期に合わせて、重楽寺

以外にも梅農家などが設ける休憩所が三カ所ある。